

# 食生活等に関するアンケート調査について

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、市民や中学生の食に関する認識や日ごろの食生活の実態を把握し、本市が中学校給食の実施検討を行う上での今後の議論の基礎資料とするため実施する。

### 2 調査対象

区分	抽出条件	人数
①市民	市政モニターに対するアンケート調査	600 人
②保護者	調査を実施する児童・生徒の保護者	9,029 人
③教員	全中学校の ・ 校長・教頭・養護教諭・生徒指導主事 ・ 学年主任(3 人)・アンケート実施クラス担任	991 人
④生徒	全中学校を対象に事務局が指定する学年の中から 1 クラスを抽出	4,678 人
⑤児童	中学校区単位ごとに事務局が小学校 1 校を抽出し、第 6 学年の中から 1 クラスを抽出	4,351 人
計		19,649 人

### 3 実施スケジュール

- ① 発送 平成 20 年 6 月下旬
- ② 回収 平成 20 年 7 月下旬
- ③ 集計 平成 20 年 8 月下旬～9 月下旬

## II 調査の内容

### 1 日ごろの食生活について〔中学生の食生活の実態について〕

- 朝食、昼食、夕食の状況など

### 2 食生活と食習慣について

- 食育や食習慣について

### 3 中学生の昼食について

- 中学生の昼食の実態調査

### 4 中学校での昼食に関する意識調査

- 中学生の昼食が弁当であることの意義・効果・課題について
  - ◇ 家庭弁当に対する意識調査
- 中学校給食の意義・効果・課題について
  - ◇ 学校給食に対する意識調査

### 5 中学校給食に関する意向調査

- 中学校給食の希望調査
- 中学校給食の実施を希望する理由
- 中学校給食の実施を希望しない理由
- 選択制給食の意向調査
- その他 自由意見を記入

食生活等に関するアンケート調査結果 確定値（単純集計）

合計		市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
19,649	対象	600	991	4,678	4,678	4,351	4,351
17,185	回答	555	939	4,355	3,461	4,157	3,718
87.5%	回収率	92.5%	94.8%	93.1%	74.0%	95.5%	85.5%

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問01】	1週間に何日ぐらい朝食を食べていますか。	1. 毎日			2,986	2,737	3,190	3,153			68.7%	79.4%	76.8%	85.1%
		2. 週に6日			322	163	323	134			7.4%	4.7%	7.8%	3.6%
		3. 週に4~5日			438	242	323	210			10.1%	7.0%	7.8%	5.7%
		4. 週に2~3日			274	171	176	125			6.3%	5.0%	4.2%	3.4%
		5. 週に1日			111	43	54	30			2.6%	1.2%	1.3%	0.8%
		6. 食べない			213	90	88	52			4.9%	2.6%	2.1%	1.4%
		対象外・無効回答			11	15	3	14						
【設問02】	朝食を食べない理由は何ですか。【設問01で「2~6」を選んだ方が対象。】	1. 食欲がないから			413	191	313	154			31.4%	28.6%	33.1%	29.1%
		2. 食べる時間がないから			554	320	389	238			42.2%	48.0%	41.1%	44.9%
		3. 朝食が用意されていないから			103	21	78	26			7.8%	3.1%	8.2%	4.9%
		4. 太りたくないから			17	1	15	3			1.3%	0.1%	1.6%	0.6%
		5. 食べないことが習慣になっているから			80	26	45	28			6.1%	3.9%	4.8%	5.3%
		6. その他の理由で食べない			147	108	107	81			11.2%	16.2%	11.3%	15.3%
		対象外・無効回答			44	42	17	21						
【設問03】	朝食を食べるときは、主食と主菜と副菜をバランスよく食べていますか。【設問01で「1~5」を選んだ方が対象。】	1. いつもそうしている			845	1,080	1,132	1,083			26.8%	32.6%	28.0%	30.0%
		2. 時々そうするようにしている			903	1,195	1,508	1,496			28.6%	36.1%	37.4%	41.4%
		3. ほとんどそうしていない			866	773	886	772			27.5%	23.3%	22.0%	21.4%
		4. いつもそうしていない			540	266	510	260			17.1%	8.0%	12.6%	7.2%
		対象外・無効回答			977	42	30	41						
【設問04】	朝食はおもにどのような組み合わせのものを食べますか。【設問03で「2~4」を選んだ方が対象。】	1. 主食と主菜と副菜をバランスよく			293	269	448	374			13.0%	12.3%	15.6%	15.1%
		2. 主食と主菜のみ			661	964	1,057	1,161			29.3%	44.2%	36.9%	46.9%
		3. 主食と副菜のみ			232	298	351	299			10.3%	13.7%	12.2%	12.1%
		4. 主菜と副菜のみ			30	17	35	16			1.3%	0.8%	1.2%	0.6%
		5. 主食のみ			859	538	820	516			38.1%	24.6%	28.6%	20.9%
		6. 主菜のみ			33	10	32	11			1.5%	0.5%	1.1%	0.4%
		7. 副菜のみ			35	20	35	10			1.6%	0.9%	1.2%	0.4%
		8. 菓子類のみ			15	1	12	3			0.7%	0.0%	0.4%	0.1%
		9. その他〔該当するものがない〕			97	66	78	84			4.3%	3.0%	2.7%	3.4%
		対象外・無効回答			54	51	36	54						

この項では、食生活の実態把握のために、朝食の状況について質問した。  
 ・朝食を必ず食べると答えた中学生は68.7%、小学生は76.8%であった。朝食を週の半分以上食べていないと答えた中学生は13.8%、小学生は7.6%であった。  
 ・朝食を食べない理由として中学生、小学生ともに、「食べる時間がない」、「食欲がない」という回答が70%以上であった。  
 ・朝食の内容として「いつもバランスよく食べている」と答えた中学生は26.8%、小学生は28%であった。  
 ・朝食の内容について「いつもバランスよく食べている」と答えたもの以外に対して内容を聞くと、中学生、小学生ともに、「主食のみ」、「主食と主菜のみ」という回答が60%以上であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問05】	1週間に何日ぐらい昼食を食べていますか。	1. 毎日			3,814	3,350					88.9%	97.3%		
		2. 週に6日			231	62					5.4%	1.8%		
		3. 週に4～5日			174	24					4.1%	0.7%		
		4. 週に2～3日			22	2					0.5%	0.1%		
		5. 週に1日			40	4					0.9%	0.1%		
		6. 食べない			10	1					0.2%	0.0%		
		対象外・無効回答			64	18								
【設問06】	昼食を食べない理由は何ですか。【設問05で「2～6」を選んだ方が対象。】	1. 食欲がないから			181	12					40.0%	15.6%		
		2. おやつや間食ですませているから			38	17					8.4%	22.1%		
		3. 食べる時間がないから			70	7					15.5%	9.1%		
		4. 昼食が用意されていないから			40	10					8.8%	13.0%		
		5. 太りたくないから			15	3					3.3%	3.9%		
		6. 食べないことが習慣になっているから			25	2					5.5%	2.6%		
		7. その他の理由で食べない			83	26					18.4%	33.8%		
		対象外・無効回答			25	16								

この項では、食生活の実態把握のために、中学生の昼食の状況について質問した。  
 ・ 昼食を必ず食べると回答した中学生は88.9%、食べないと回答した中学生は0.2%であった。  
 ・ 昼食を食べない理由としては、中学生は、「食欲がないから」が40%、「食べる時間がないから」が15.5%であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問07】	今日のお子さんの昼食【まだの場合は昨日】はどのような昼食にしましたか。【1つ選択】	1. 家庭で調理をした手作りの食事や弁当				2,437							72.3%	
		2. 冷凍・レトルト・インスタント食品を利用した食事や弁当				641							19.0%	
		3. 市販の弁当やお惣菜を利用した食事				168							5.0%	
		4. 外食				47							1.4%	
		5. 食べなかった				5							0.1%	
		6. その他の食べ物				75							2.2%	
		対象外・無効回答				88								

この項では、中学生の昼食について直近の昼食がどのような食事であったか質問した。  
 ・ 家庭で調理した手作りの食事や弁当であると中学生の保護者の72.3%が回答した。  
 ・ 冷凍・レトルト・インスタント食品を活用した食事であると中学生の保護者の19%が回答した。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問08】	1週間に何日ぐらい夕食を食べていますか。	1. 毎日			4,034	3,400	3,990	3,686			94.6%	98.7%	96.4%	99.6%
		2. 週に6日			106	18	89	11			2.5%	0.5%	2.1%	0.3%
		3. 週に4~5日			75	18	33	3			1.8%	0.5%	0.8%	0.1%
		4. 週に2~3日			27	7	10	0			0.6%	0.2%	0.2%	0.0%
		5. 週に1日			5	0	6	0			0.1%	0.0%	0.1%	0.0%
		6. 食べない			19	1	13	2			0.4%	0.0%	0.3%	0.1%
		対象外・無効回答			89	17	16	16						
【設問09】	夕食を食べない理由は何ですか。【設問08で「2~6」を選んだ方が対象。】	1. 食欲がないから			68	10	42	3			30.8%	25.6%	29.4%	27.3%
		2. おやつや間食ですませているから			24	5	12	2			10.9%	12.8%	8.4%	18.2%
		3. 食べる時間がないから			40	2	18	0			18.1%	5.1%	12.6%	0.0%
		4. 夕食が用意されていないから			18	4	10	1			8.1%	10.3%	7.0%	9.1%
		5. 太りたくないから			31	11	16	1			14.0%	28.2%	11.2%	9.1%
		6. 食べないことが習慣になっているから			8	2	6	0			3.6%	5.1%	4.2%	0.0%
		7. その他の理由で食べない			32	5	39	4			14.5%	12.8%	27.3%	36.4%
		対象外・無効回答			11	5	8	5						

この項では、食生活の実態把握のために、中学生の夕食の状況について質問した。  
・夕食を必ず食べると回答した中学生は94.6%、小学生は、96.4%、夕食を週の半分以上食べないと答えた中学生は1.1%、小学生は0.6%であった。  
・夕食を食べない理由としては、「食欲がないから」、「食べる時間がないから」、「太りたくないから」という回答が、中学生で62.9%、小学生で53.2%と多数であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問10】	「食育基本法」では、「食育」とは、『「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる』こととされています。そこで、小・中学生への「食育」とは、どのようなことだと思いますか。【複数回答可能】	1. 1日3食、規則正しく食べること。		804		3,071		3,290		85.6%		88.7%		88.5%
		2. 食事の前後に「いただきます」など感謝をあらわすこと		578		2,356		2,686		61.6%		68.1%		72.2%
		3. 家族や友人と一緒に楽しく食べること		485		2,487		2,722		51.7%		71.9%		73.2%
		4. 食材や食品の選び方を学ぶこと		508		1,139		1,203		54.1%		32.9%		32.4%
		5. 調理を体験すること		265		1,020		1,259		28.2%		29.5%		33.9%
		6. 食べ物の栄養について学ぶこと		577		1,742		2,003		61.4%		50.3%		53.9%
		7. 種まきや収穫などの農業体験をすること		110		394		611		11.7%		11.4%		16.4%
		8. 食を通じて健康について学ぶこと		724		2,095		2,268		77.1%		60.5%		61.0%
		9. 食べ物をむだにしないこと		560		2,369		2,653		59.6%		68.4%		71.4%
		10. いろいろな食べ物の味を体験すること		90		1,209		1,331		9.6%		34.9%		35.8%
		11. 好き嫌いをなくすこと		297		1,617		1,859		31.6%		46.7%		50.0%
		12. よくかんで食べること		190		1,002		1,300		20.2%		29.0%		35.0%
		13. 安全な食べ物の知識を学ぶこと		591		1,163		1,187		62.9%		33.6%		31.9%
		14. 食事の作法を学ぶこと		333		1,439		1,614		35.5%		41.6%		43.4%
		15. 伝統食や行事食などを知ること		254		796		875		27.1%		23.0%		23.5%
		16. よくわからない		8		39		29		0.9%		1.1%		0.8%

この項では、小中学生に対する「食育」とはどのようなものと考えているのか質問した。

- ・「1日3食、規則正しく食べること」について教職員の85.6%、中学生の保護者の88.7%、小学生の保護者の88.5%が回答した。
- ・「食事の前後に「いただきます」など感謝をあらわすこと」、「家族や友人と一緒に楽しく食べること」、「食べ物の栄養について学ぶこと」、「食を通じて健康について学ぶこと」、「食べ物をむだにしないこと」については、全ての対象者が半数以上の回答であった。
- ・「調理を体験すること」、「種まきや収穫などの農業体験をすること」「いろいろな食べ物の味を体験すること」「好き嫌いをなくすこと」「よくかんで食べること」「食事の作法を学ぶこと」「伝統食や行事食などを知ること」については、全ての対象者が半数以下の回答であった。
- ・食育について「よくわからない」と答えた教職員は0.9%、中学生の保護者は1.1%、小学生の保護者は0.8%であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問11】	朝食についておうかがいします。ふだん朝食を食べたいと思いますか。	1. 思う			3,549		3,583			82.0%		86.5%		
		2. 思わない			777		560			18.0%		13.5%		
		対象外・無効回答			29		14							
【設問12】	設問11で選んだ回答に対して、その理由をおうかがいします。〔複数回答可能〕	1. おなかがすいているから			2,747		2,757			63.5%		66.5%		
		2. おなかがすいていないから			672		527			15.5%		12.7%		
		3. いつも食べているから			2,356		2,707			54.5%		65.3%		
		4. いつも食べていないから			302		203			7.0%		4.9%		
		5. ひとりで食べられるから			262		285			6.1%		6.9%		
		6. 家族と話ができるから			501		1,071			11.6%		25.9%		
		7. おいしいから			1,625		2,321			37.6%		56.0%		
		8. おいしくないから			78		79			1.8%		1.9%		
		9. 大きくなりたいから			972		1,541			22.5%		37.2%		
		10. やせたいから			152		108			3.5%		2.6%		
		11. 楽しいから			462		868			10.7%		21.0%		
		12. つまらないから			91		102			2.1%		2.5%		
		13. 食べる時間がないから			429		303			9.9%		7.3%		
		14. 注意されるから			207		200			4.8%		4.8%		
		15. できるだけ眠っていたいから			496		401			11.5%		9.7%		
		16. 食事の準備ができていないから			149		122			3.4%		2.9%		

この項では朝食に関する認識を把握するために、朝食についての意識やその理由について質問した。  
 ・朝食を食べたいと思うと回答した中学生は82.0%、思わないと回答した中学生は18.0%であった。  
 ・朝食を食べたいと思うと回答した小学生は86.5%、思わないと回答した小学生は13.5%であった。  
 ・食べたいと思う理由としては、中学生・小学生ともに「おなかがすいているから」が最も多い回答であり、「いつも食べているから」「おいしいから」と多数が回答した。  
 ・食べたいと思わない理由としては、中学生・小学生ともに「おなかがすいていないから」が最も多い回答であり、「できるだけ眠っていたいから」「食べる時間がないから」と多数が回答した。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問13】	あなたの日ごろの食生活について教えてください。													
a.	食事を味わうことや会話しながら食べることなど、食事を楽しむようにしている。	1. いつもそうしている	267	441	1,868	1,974	2,031	2,276	48.2%	47.2%	43.0%	57.5%	48.9%	61.5%
		2. 時々そうしている	217	386	1,445	1,241	1,396	1,219	39.2%	41.3%	33.3%	36.2%	33.6%	32.9%
		3. あまりしない	62	98	734	198	511	186	11.2%	10.5%	16.9%	5.8%	12.3%	5.0%
		4. しない	8	10	293	18	212	20	1.4%	1.1%	6.8%	0.5%	5.1%	0.5%
		対象外・無効回答	1	4	15	30	7	17						
b.	食事の最初と最後に「いただきます」「ごちそうさま」を言っている。	1. いつも言っている	292	590	2,508	2,220	2,865	2,577	52.8%	63.1%	57.8%	64.7%	69.0%	69.6%
		2. 時々言っている	168	253	1,023	824	856	840	30.4%	27.1%	23.6%	24.0%	20.6%	22.7%
		3. あまり言わない	63	79	449	302	272	216	11.4%	8.4%	10.3%	8.8%	6.6%	5.8%
		4. 言わない	30	13	362	85	159	69	5.4%	1.4%	8.3%	2.5%	3.8%	1.9%
		対象外・無効回答	2	4	13	30	5	16						
c.	ゆっくりよくかんで食べるよう心がけている。	1. いつもそうしている	137	153	838	969	839	1,115	24.8%	16.3%	19.3%	28.2%	20.2%	30.1%
		2. 時々そうしている	247	367	1,841	1,607	2,034	1,720	44.7%	39.2%	42.4%	46.8%	49.0%	46.5%
		3. あまりしない	155	378	1,267	792	1,006	800	28.0%	40.4%	29.2%	23.1%	24.2%	21.6%
		4. しない	14	38	397	63	274	64	2.5%	4.1%	9.1%	1.8%	6.6%	1.7%
		対象外・無効回答	2	3	12	30	4	19						
d.	食事のときはテレビや本を見ながら食べている。	1. いつもそうしている	166	179	2,569	1,635	2,254	1,668	30.0%	19.1%	59.2%	47.7%	54.2%	45.1%
		2. 時々そうしている	236	447	1,067	1,113	1,130	1,271	42.6%	47.8%	24.6%	32.4%	27.2%	34.4%
		3. あまりしない	80	185	318	379	366	398	14.4%	19.8%	7.3%	11.0%	8.8%	10.8%
		4. しない	72	125	388	304	405	361	13.0%	13.4%	8.9%	8.9%	9.7%	9.8%
		対象外・無効回答	1	3	13	30	2	20						
e.	野菜をよく食べている。	1. いつも食べている	368	640	1,807	2,228	1,951	2,405	66.4%	68.4%	41.7%	64.9%	46.9%	65.0%
		2. 時々食べている	150	244	1,813	1,021	1,682	1,089	27.1%	26.1%	41.8%	29.8%	40.5%	29.4%
		3. あまり食べない	35	46	572	149	433	187	6.3%	4.9%	13.2%	4.3%	10.4%	5.1%
		4. 食べない	1	6	141	33	90	21	0.2%	0.6%	3.3%	1.0%	2.2%	0.6%
		対象外・無効回答	1	3	22	30	1	16						
f.	お菓子ばかり食べて食事をしない。	1. いつも食事をしない	12	4	209	48	199	31	2.2%	0.4%	4.8%	1.4%	4.8%	0.8%
		2. 時々食事をしない	28	20	381	159	232	140	5.1%	2.1%	8.8%	4.7%	5.6%	3.8%
		3. 食事をしないことはあまりない	95	164	968	514	568	515	17.2%	17.5%	22.3%	15.1%	13.7%	14.0%
		4. 食事はいつもしている	418	748	2,778	2,693	3,153	3,003	75.6%	79.9%	64.1%	78.9%	75.9%	81.4%
		対象外・無効回答	2	3	19	47	5	29						
g.	好きなものだけを食べている。	1. いつもそうしている	20	26	385	135	273	130	3.6%	2.8%	8.9%	3.9%	6.6%	3.5%
		2. 時々そうしている	121	175	1,348	797	1,143	928	21.9%	18.7%	31.0%	23.2%	27.5%	25.1%
		3. あまりしない	243	368	1,496	1,348	1,427	1,396	43.9%	39.3%	34.5%	39.3%	34.4%	37.7%
		4. しない	169	367	1,113	1,148	1,309	1,246	30.6%	39.2%	25.6%	33.5%	31.5%	33.7%
		対象外・無効回答	2	3	13	33	5	18						
h.	出されたものは残さず食べている。	1. いつも残さず食べている	343	674	1,756	2,103	1,743	2,134	62.0%	72.0%	40.5%	61.3%	42.0%	57.7%
		2. 時々残すことがある	203	253	2,213	1,264	2,095	1,497	36.7%	27.0%	51.0%	36.8%	50.4%	40.5%
		3. よく食事を残す	3	9	296	47	268	55	0.5%	1.0%	6.8%	1.4%	6.5%	1.5%
		4. いつも食事を残す	4	0	76	19	48	12	0.7%	0.0%	1.8%	0.6%	1.2%	0.3%
		対象外・無効回答	2	3	14	28	3	20						

設問番号	設問	回答	回答数						回答率					
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
i.	好き嫌いをなくすように心がけている。	1. いつもそうしている	340	633	1,498	2,065	1,761	2,272	61.5%	67.9%	34.5%	60.2%	42.4%	61.4%
		2. 時々そうしている	150	180	1,367	1,022	1,377	1,087	27.1%	19.3%	31.5%	29.8%	33.2%	29.4%
		3. あまりしない	47	88	934	281	668	282	8.5%	9.4%	21.5%	8.2%	16.1%	7.6%
		4. しない	16	31	542	60	345	58	2.9%	3.3%	12.5%	1.8%	8.3%	1.6%
		対象外・無効回答	2	7	14	33	6	19						
j.	朝食・昼食・夕食の3食をきちんと食べるように心がけている。	1. いつもそうしている	435	737	2,910	2,559	3,149	2,932	78.5%	78.7%	67.0%	74.6%	75.8%	79.3%
		2. 時々そうしている	79	120	793	627	688	571	14.3%	12.8%	18.3%	18.3%	16.6%	15.4%
		3. あまりしない	32	60	432	188	224	162	5.8%	6.4%	9.9%	5.5%	5.4%	4.4%
		4. しない	8	19	209	58	93	33	1.4%	2.0%	4.8%	1.7%	2.2%	0.9%
		対象外・無効回答	1	3	11	29	3	20						
k.	「フライ」や「から揚げ」などの油を使った食品をよく食べる。	1. いつも食べている	37	120	441	281	296	280	6.7%	12.8%	10.2%	8.2%	7.1%	7.6%
		2. 時々食べている	353	582	2,972	2,485	2,791	2,765	63.7%	62.2%	68.5%	72.4%	67.2%	74.8%
		3. あまり食べない	155	217	833	637	998	622	28.0%	23.2%	19.2%	18.6%	24.0%	16.8%
		4. 食べない	9	17	91	27	68	31	1.6%	1.8%	2.1%	0.8%	1.6%	0.8%
		対象外・無効回答	1	3	18	31	4	20						
l.	ジュースなどの清涼飲料をよく飲んでいる。	1. いつも飲んでいる	57	80	1,452	413	1,133	467	10.3%	8.5%	33.5%	12.1%	27.3%	12.7%
		2. 時々飲んでいる	156	278	2,015	1,178	1,932	1,323	28.2%	29.7%	46.4%	34.5%	46.5%	35.9%
		3. あまり飲まない	241	410	711	1,316	903	1,462	43.5%	43.8%	16.4%	38.6%	21.7%	39.7%
		4. 飲まない	100	168	162	506	186	430	18.1%	17.9%	3.7%	14.8%	4.5%	11.7%
		対象外・無効回答	1	3	15	48	3	36						
m.	料理の手伝いや後片付けをする。	1. いつもしている			948		1,094				21.9%		26.3%	
		2. 時々している			1,617		1,673				37.3%		40.3%	
		3. あまりしない			1,073		928				24.7%		22.4%	
		4. しない			698		457				16.1%		11.0%	
		対象外・無効回答			19		5							

この項では食習慣の実態を把握するために質問した。

- ・食事を楽しむように「いつもしている」と回答した中学生は43.0%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も低い。
- ・食事のあいさつについて「いつもしている」と回答した市民は52.8%と教職員・小中学生・保護者と比較して最も低い。
- ・ゆっくりよくかんで食べるよう「いつも心がけている」と回答した教職員は16.3%と市民・小中学生・保護者と比較して最も低い。
- ・テレビや本を見ながらの食事を「いつもしている」と回答した中学生は59.2%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も高い。
- ・野菜を「いつも良く食べる」と回答した中学生は41.7%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も低い。
- ・お菓子ばかり食べて「いつも食事をしない」と回答した小学生・中学生はともに4.8%と市民・教職員・保護者と比較して最も高い。
- ・好きなものだけを「いつも食べている」と回答した中学生は8.8%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も高い。
- ・出されたものは「いつも残さず食べる」と回答した中学生は40.5%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も低い。
- ・好き嫌いをなくすように「いつも心がけている」と回答した中学生は34.5%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も低い。
- ・朝食、昼食、夕食の3食を「いつも食べるように心がけている」と回答した中学生は67.0%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も低い。
- ・油を使った食品を「いつもよく食べている」と回答した教職員は12.8%と市民・小中学生・保護者と比較して最も高い。
- ・清涼飲料などを「いつも飲んでいる」と回答した中学生は33.5%と市民・教職員・保護者・小学生と比較して最も高い。
- ・料理の手伝いや後片付けを「いつもしている」と回答した中学生は21.9%と小学生よりも低い。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問14】	「食育」について、次の中で、主に「学校の役割」だと思うことを選んでください。【複数回答可能】	1. 食事を味わうことや楽しく会話しながら食べることなど、食事の楽しさを教えること	293	328		1,765		2,059	52.8%	34.9%		51.0%		55.4%
		2. 栄養バランスや食事の大切さについて教えること	427	712		2,553		2,932	76.9%	75.8%		73.8%		78.9%
		3. 規則正しい食習慣を身につけること	302	452		1,496		1,545	54.4%	48.1%		43.2%		41.6%
		4. 「いただきます」や「ごちそうさま」が言えるなどの食事マナーを身につけること	304	427		1,594		2,025	54.8%	45.5%		46.1%		54.5%
		5. 毎日の生活に役立つ、ご飯の炊き方やおかずの作り方などを教えること	126	185		673		633	22.7%	19.7%		19.4%		17.0%
		6. 産地や賞味期限、原材料、添加物の表示や食品の安全性について教えること	297	590		1,706		1,656	53.5%	62.8%		49.3%		44.5%
		7. 自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝の気持ちを育むこと	419	604		2,198		2,499	75.5%	64.3%		63.5%		67.2%

この項では、食育について「学校の役割」は何かを質問した。

- ・市民は、6つの項目、教職員・中学生の保護者は3つの項目、小学生の保護者は4つの項目で半数以上が学校の役割と回答した。
- ・「食事を味わうことや楽しく会話しながら食べることなど食事の楽しさを教えること」については、教職員以外の対象から半数以上の回答があった。
- ・「栄養バランスや食事の大切さについて教えること」については、全ての対象から70%を超える回答があった。
- ・「規則正しい食習慣を身につけること」について、市民のみ半数以上が回答した。
- ・「食事のあいさつなど」マナーを身につけることについて、市民と小学生の保護者から半数以上の回答があった。
- ・ご飯の炊き方などを教えることは、全ての対象から半数以下の回答であった。
- ・食品の安全性について教えることについて、市民と教職員から半数以上の回答があった。
- ・自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝の気持ちを育むことについて、全ての対象から60%以上の回答があった。

設問番号	設問	回答	回答数															
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者				
【設問15】	中学生のお子さんの昼食についておうかがいします。																	
a.	お子さんに週何回ぐらい家庭で作ったお弁当を持たせていますか。	1. 毎日				2,513												73.6%
		2. 週に4日				595												17.4%
		3. 週に3日				141												4.1%
		4. 週に2日				30												0.9%
		5. 週に1日				28												0.8%
		6. 持たせていない				106												3.1%
		対象外・無効回答				48												
b.	お弁当を持たせない日は、お子さんに昼食代としてどれくらいのお金を渡していますか	1. 300円未満				110												4.1%
		2. 300円～399円				254												9.5%
		3. 400円～499円				732												27.5%
		4. 500円～599円				1,193												44.8%
		5. 600円以上				372												14.0%
		対象外・無効回答				800												
c.	中学生のお子さんの弁当をつくるためにどれくらいの時間が必要ですか。	1. 朝食と一緒につくるので、特別な時間は必要ない				312												9.2%
		2. 15分以下の時間が必要				467												13.7%
		3. 15分～30分程度の時間が必要				1,849												54.4%
		4. 30分以上の時間が必要				735												21.6%
		5. 弁当は作らない				38												1.1%
		対象外・無効回答				60												
d.	お弁当は、お子さんと一緒につくりますか。	1. 毎日			311	41						7.2%	1.2%					
		2. 週に4日			78	19						1.8%	0.6%					
		3. 週に3日			69	18						1.6%	0.5%					
		4. 週に2日			83	31						1.9%	0.9%					
		5. 週に1日			204	60						4.7%	1.8%					
		6. つくらない			3,585	3,232						82.8%	95.0%					
		対象外・無効回答			25	60												
e.	1週間に何回ぐらい家で作ったお弁当を持っていますか	1. 毎日			2,791							64.7%						
		2. 週に4日			904							21.0%						
		3. 週に3日			264							6.1%						
		4. 週に2日			64							1.5%						
		5. 週に1日			66							1.5%						
		6. 持ってこない			222							5.1%						
		対象外・無効回答			44													
f.	そのうち、自分でつくったお弁当を持ってこることがありますか。	1. 毎日			162							3.8%						
		2. 週に4日			64							1.5%						
		3. 週に3日			47							1.1%						
		4. 週に2日			63							1.5%						
		5. 週に1日			169							3.9%						
		6. 自分では作らない			3,777							88.2%						
		対象外・無効回答			73													

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
E	家で作ったお弁当を持ってこない日は昼食に何を主に食べていますか	1. 学校で売っている弁当			298					7.2%				
		2. 市販の弁当			176					4.2%				
		3. 学校で売っている「おにぎり」や「パン類」			1,110					26.7%				
		4. 市販の「おにぎり」や「パン類」			1,573					37.9%				
		5. 牛乳などの飲み物のみ			21					0.5%				
		6. 必ず弁当を持ってくる			901					21.7%				
		7. その他の食べ物			74					1.8%				
		対象外・無効回答			202									

この項では、中学生の昼食の実態について質問した。  
 ・弁当を週に何回ぐらい作るかについて、中学生の保護者の73.6%は「毎日」と回答し、3.1%が「持たせていない」と回答した。  
 ・弁当を持たせない日の昼食代について、中学生の保護者の44.8%は「500円～599円」と回答した。  
 ・弁当を作るために必要な時間について、中学生の保護者の54.4%は「15分～30分程度」と回答した。  
 ・弁当と一緒に作るかについて、中学生の82.8%、中学生の保護者の95%が「つくらない」と回答した。  
 ・弁当を週に何回ぐらい持ってくるかについて、中学生の64.7%は、「毎日」と回答し、5.1%が「持ってこない」と回答した。  
 ・弁当を持ってくる者のうち自分で作った弁当を持ってくるかについて、中学生の88.2%は「自分では作らない」と回答した。  
 ・弁当を持ってこない日の昼食について中学生は、「市販のおにぎりやパン」と37.9%、「学校で売っているおにぎりやパン」と26.7%が回答した。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問16】	中学校での昼食で、食べたい、もしくは食べさせたいと思うのはどれですか	1. 家で作った弁当	237	772	2,189	1,127	2,950	788	43.1%	83.2%	51.4%	33.7%	72.9%	22.0%
		2. 学校給食	292	148	932	2,128	445	2,726	53.1%	15.9%	21.9%	63.7%	11.0%	76.1%
		3. 学校で売っている弁当	6	2	109	18	121	11	1.1%	0.2%	2.6%	0.5%	3.0%	0.3%
		4. 店で売っている弁当	4	1	110	3	113	1	0.7%	0.1%	2.6%	0.1%	2.8%	0.0%
		5. 学校で売っている「おにぎり」や「パン類」	2	0	279	10	188	6	0.4%	0.0%	6.5%	0.3%	4.6%	0.2%
		6. 店で売っている「おにぎり」や「パン類」	0	0	467	10	163	0	0.0%	0.0%	11.0%	0.3%	4.0%	0.0%
		7. その他	9	5	175	46	68	52	1.6%	0.5%	4.1%	1.4%	1.7%	1.5%
		対象外・無効回答	5	11	94	119	109	134						

この項では、中学生の昼食について何がよいか質問した。  
 ・市民は、家庭弁当が43.1%、学校給食が53.1%、それ以外が3.8%の回答であった。  
 ・教職員は、家庭弁当が83.2%、学校給食が15.9%、それ以外が0.9%の回答であった。  
 ・中学生は、家庭弁当が51.4%、学校給食が21.9%、それ以外が26.8%の回答であった。  
 ・中学生の保護者は、家庭弁当が33.7%、学校給食が63.7%、それ以外が2.6%の回答であった。  
 ・小学生は、家庭弁当が72.9%、学校給食が11.0%、それ以外が16.1%の回答であった。  
 ・小学生の保護者は、家庭弁当が22.0%、学校給食が76.1%、それ以外が2.0%の回答であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問17】	次に書いてあることは、弁当持参の意義や、弁当持参のよいと思われる点です。あなたは、このことについてどのように思いますか													
a.	家庭弁当は、生徒の好みや体調に合わせて、おかずの内容や分量が調整できる。	1. そう思う	437	826	2,766	2,640	3,161	2,641	79.0%	88.2%	63.9%	77.4%	77.0%	72.3%
		2. 思わない	80	77	557	574	338	782	14.5%	8.2%	12.9%	16.8%	8.2%	21.4%
		3. わからない	36	33	1,009	197	606	230	6.5%	3.5%	23.3%	5.8%	14.8%	6.3%
		対象外・無効回答	2	3	23	50	52	65						
b.	家庭弁当は、アレルギーへの対応などがきめ細やかにできる。	1. そう思う	486	878	2,595	2,783	2,849	2,918	87.9%	93.7%	60.1%	81.8%	69.5%	79.9%
		2. 思わない	38	24	388	315	349	389	6.9%	2.6%	9.0%	9.3%	8.5%	10.6%
		3. わからない	29	35	1,333	306	903	347	5.2%	3.7%	30.9%	9.0%	22.0%	9.5%
		対象外・無効回答	2	2	39	57	56	64						
c.	家庭弁当は、生徒が家庭のぬくもりを感じることができる。	1. そう思う	404	847	2,492	2,613	2,831	2,617	73.1%	90.4%	57.6%	76.7%	69.0%	71.5%
		2. 思わない	86	43	530	359	411	586	15.6%	4.6%	12.2%	10.5%	10.0%	16.0%
		3. わからない	63	47	1,306	436	860	457	11.4%	5.0%	30.2%	12.8%	21.0%	12.5%
		対象外・無効回答	2	2	27	53	55	58						
d.	家庭弁当は、学校での昼食に必要な時間が短くて済むことから、時間が有効に使える。	1. そう思う	162	410	2,351	1,221	2,770	1,025	29.3%	43.8%	54.3%	35.9%	67.6%	28.0%
		2. 思わない	267	363	860	1,315	548	1,813	48.3%	38.8%	19.9%	38.7%	13.4%	49.6%
		3. わからない	124	163	1,117	866	779	817	22.4%	17.4%	25.8%	25.5%	19.0%	22.4%
		対象外・無効回答	2	3	27	59	60	63						
e.	家庭弁当は、持ち帰った弁当箱の食べ残しなどで、家庭が、子どもの体調を把握できる。	1. そう思う	357	763	1,747	2,412		2,143	64.6%	81.8%	40.5%	71.1%		58.6%
		2. 思わない	138	101	919	700		1,107	25.0%	10.8%	21.3%	20.6%		30.3%
		3. わからない	58	69	1,652	281		405	10.5%	7.4%	38.3%	8.3%		11.1%
		対象外・無効回答	2	6	37	68		63						
f.	家庭弁当は、家族の分などをまとめて作るなどにより、給食費を支払うより経済的である。	1. そう思う	141	404		708		445	25.5%	43.1%		20.8%		12.2%
		2. 思わない	230	281		1,874		2,411	41.7%	30.0%		55.1%		65.9%
		3. わからない	181	252		822		800	32.8%	26.9%		24.1%		21.9%
		対象外・無効回答	3	2		57		62						
g.	家庭弁当を含め、食生活は、トータルで家庭で考えるべき問題である。	1. そう思う	345	720		1,671		1,556	62.6%	77.2%		49.2%		42.7%
		2. 思わない	128	137		925		1,197	23.2%	14.7%		27.2%		32.9%
		3. わからない	78	76		799		889	14.2%	8.1%		23.5%		24.4%
		対象外・無効回答	4	6		66		76						

この項では、中学生の昼食として弁当持参することの意義・効果についての認識を質問した。

- ・家庭弁当は嗜好や体調に合わせて調整できることに対して、全ての対象者の60%以上が「そう思う」と回答したが、中学生は63.9%と最も低い。
- ・家庭弁当はアレルギー対応などがきめ細やかにできることに対して、全ての対象者の60%以上が「そう思う」と回答したが、中学生は60.1%と最も低い。
- ・家庭弁当は生徒が家庭のぬくもりを感じることができることに対して、全ての対象者の半数以上が「そう思う」と回答したが、中学生は57.6%と最も低い。
- ・家庭弁当は昼食時間が短時間で時間を有効に使えることに対して、教職員・中学生・小学生は「そう思う」と回答した者が「思わない」と回答した者を上回ったが、市民・中学生の保護者・小学生の保護者は「思わない」と回答した者が「そう思う」と回答した者を上回った。
- ・家庭弁当は食べ残しなどで体調把握ができることに対して、全ての対象者で「そう思う」と回答した者が「思わない」と回答した者を上回ったが、中学生は40.5%と最も低い。
- ・家庭弁当はまとめてつくと給食費を支払うより経済的であることに対して、市民・中学生の保護者・小学生の保護者は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回ったが、教職員は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。
- ・家庭弁当を含め食生活はトータルで家庭の問題であることに対して、全ての対象者で「そう思う」と回答した者が「思わない」という回答を上回った。

設問番号	設問	回答	回答数						回答率					
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問18】	次に書いてあることは、弁当持参の課題と思われる点です。あなたは、このことについてどのように思いますか													
a.	日々の弁当作りは、大変な作業である。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	467 59 27 2	782 123 33 1	3,501 238 587 29	2,786 504 124 47	3,504 265 334 54	3,327 260 76 55	84.4% 10.7% 4.9% 0%	83.4% 13.1% 3.5% 0%	80.9% 5.5% 13.6% 0%	81.6% 14.8% 3.6% 0%	85.4% 6.5% 8.1% 0%	90.8% 7.1% 2.1% 0%
b.	家庭弁当は、弁当の内容が様々であることから他の生徒の弁当と比較されることがある。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	350 136 67 2	488 348 102 1	875 2,218 1,228 34	1,591 1,092 729 49	1,029 1,811 1,257 60	2,309 885 466 58	63.3% 24.6% 12.1% 0%	52.0% 37.1% 10.9% 0%	20.2% 51.3% 28.4% 0%	46.6% 32.0% 21.4% 0%	25.1% 44.2% 30.7% 0%	63.1% 24.2% 12.7% 0%
c.	家庭弁当は、毎日学校に持っていくのが大変である。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	183 331 39 2	154 750 34 1	1,627 2,210 485 33	1,549 1,493 371 48	870 2,728 498 61	1,766 1,487 407 58	33.1% 59.9% 7.1% 0%	16.4% 80.0% 3.6% 0%	37.6% 51.1% 11.2% 0%	45.4% 43.7% 10.9% 0%	21.2% 66.6% 12.2% 0%	48.3% 40.6% 11.1% 0%
d.	家庭弁当は、夏場は傷みやすく、冬は冷たいなど、品質管理が大変である。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	457 78 18 2	564 327 47 1	2,419 849 1,049 38	3,102 246 66 47		3,432 174 56 56	82.6% 14.1% 3.3% 0%	60.1% 34.9% 5.0% 0%	56.0% 19.7% 24.3% 0%	90.9% 7.2% 1.9% 0%		93.7% 4.8% 1.5% 0%
e.	突然の体調不良などで、弁当が作れないとき、昼食に困る	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	389 121 43 2	460 415 63 1		2,426 836 155 44		3,058 491 111 58	70.3% 21.9% 7.8% 0%	49.0% 44.2% 6.7% 0%		71.0% 24.5% 4.5% 0%		83.6% 13.4% 3.0% 0%
f.	家庭弁当は、メニューにかたよりが出ると、バランスのとれた弁当づくりが大変である。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	389 128 36 2	483 377 77 2		2,834 461 120 46		3,208 355 97 58	70.3% 23.1% 6.5% 0%	51.5% 40.2% 8.2% 0%		83.0% 13.5% 3.5% 0%		87.7% 9.7% 2.7% 0%
g.	家庭弁当は、必要量以上の食材を購入するなど、経済的負担が大きくなることがある。	1. そう思う 2. 思わない 3. わからない 対象外・無効回答	217 225 111 2			2,165 871 375 50		2,548 667 440 63	39.2% 40.7% 20.1% 0%			63.5% 25.5% 11.0% 0%		69.7% 18.2% 12.0% 0%

この項では、中学生の昼食として弁当持参することの課題についての認識を質問した。

- ・日々の弁当作りは大変な作業であることに対して、全ての対象者の80%以上が「そう思う」と回答した。
- ・家庭弁当は弁当の内容を他の生徒と比較されることがあることについて、中学生・小学生は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回ったが、市民・教職員・中学生の保護者・小学生の保護者は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。
- ・家庭弁当は毎日学校に持っていくのが大変であることに対して、市民・教職員・中学生・小学生は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回ったが、中学生の保護者・小学生の保護者は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。
- ・家庭弁当は夏場・冬場など品質管理が大変であることに対して、中学生の保護者・小学生の保護者の90%以上、その他の対象者の半数以上が「そう思う」と回答した。
- ・突然弁当が作れない場合昼食に困ることに対して、全ての対象者で「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。
- ・家庭弁当はメニューが偏るとバランスのとれた弁当作りが大変であることに対して、中学生の保護者・小学生の保護者の80%以上、市民・教職員の半数以上が「そう思う」と回答した。
- ・家庭弁当は経済的負担が大きくなることに対して、中学生の保護者・小学生の保護者の60%以上が「そう思う」と回答したが、市民は「思わない」と回答した者が「思う」と回答した者とほぼ同数であった。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問19】	次に書いてあることは、学校給食の意義や中学校給食を実施した場合のよいと思われる点です。あなたは、このことについてどのように思いますか。													
a.	給食当番など共同作業をすることで、協調性を養うことができる。	1. そう思う	426	532	1,532	2,689	1,582	3,079	77.0%	56.7%	35.6%	78.9%	38.6%	84.2%
		2. 思わない	72	271	1,270	331	1,277	242	13.0%	28.9%	29.5%	9.7%	31.1%	6.6%
		3. わからない	55	135	1,505	387	1,241	336	9.9%	14.4%	34.9%	11.4%	30.3%	9.2%
		対象外・無効回答	2	1	48	54	57	61						
b.	みんなで同じものを食べることにより、会話がはずんだりすることで仲間づくりに役立つ。	1. そう思う	355	370	1,945	2,443	2,014	2,839	64.2%	39.4%	45.1%	71.7%	49.1%	77.6%
		2. 思わない	124	418	1,275	481	1,275	376	22.4%	44.5%	29.6%	14.1%	31.1%	10.3%
		3. わからない	74	151	1,089	481	809	445	13.4%	16.1%	25.3%	14.1%	19.7%	12.2%
		対象外・無効回答	2	0	46	56	59	58						
c.	給食は、生徒が家に持ち帰る献立表などを通じて、家庭での食育のきっかけとなる。	1. そう思う	349	420	1,290	2,338	1,252	2,595	63.1%	44.7%	30.0%	68.7%	30.5%	70.9%
		2. 思わない	120	338	1,334	504	1,471	477	21.7%	36.0%	31.0%	14.8%	35.9%	13.0%
		3. わからない	84	181	1,679	561	1,378	586	15.2%	19.3%	39.0%	16.5%	33.6%	16.0%
		対象外・無効回答	2	0	52	58	56	60						
d.	好き嫌いをなおすきっかけになる。	1. そう思う	328	381	1,747	2,617	1,870	2,964	59.3%	40.6%	40.5%	76.8%	45.6%	81.0%
		2. 思わない	161	424	1,641	490	1,501	453	29.1%	45.2%	38.1%	14.4%	36.6%	12.4%
		3. わからない	64	134	921	300	730	243	11.6%	14.3%	21.4%	8.8%	17.8%	6.6%
		対象外・無効回答	2	0	46	54	56	58						
e.	食材・調理の衛生管理が良いなど、安全・安心な昼食をとることができる。	1. そう思う	402	578	2,223	2,678	2,243	3,122	72.7%	61.6%	51.6%	78.7%	54.7%	85.3%
		2. 思わない	72	198	789	267	741	156	13.0%	21.1%	18.3%	7.8%	18.1%	4.3%
		3. わからない	79	163	1,293	457	1,114	380	14.3%	17.4%	30.0%	13.4%	27.2%	10.4%
		対象外・無効回答	2	0	50	59	59	60						
f.	毎日の献立が変化に富み、あきがなく、いろいろなものをバランスよく食べることができる。	1. そう思う	462	675	2,602	3,146	2,490	3,502	84.0%	71.9%	60.5%	92.5%	60.7%	95.8%
		2. 思わない	42	172	729	112	768	60	7.6%	18.3%	17.0%	3.3%	18.7%	1.6%
		3. わからない	46	92	967	143	842	95	8.4%	9.8%	22.5%	4.2%	20.5%	2.6%
		対象外・無効回答	5	0	57	60	57	61						

この項では学校給食の意義・効果についての認識について質問した。

- ・給食は当番作業など共同作業で協調性を養うことができることに対して、全ての対象者で「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、中学生・小学生ともに30%台と低い。
- ・給食はみんなが同じものを食べることで仲間づくりに役立つことに対して、市民・中学生・中学生の保護者・小学生・小学生の保護者は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、教職員は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回った。
- ・給食は献立などが家庭での食育のきっかけになることに対して、市民・教職員・中学生の保護者・小学生の保護者は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、中学生・小学生は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回った。
- ・給食は好き嫌いをなおすきっかけになることに対して、市民・中学生・中学生の保護者・小学生・小学生の保護者は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、教職員は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回った。
- ・給食は衛生管理がよく、安全安心な昼食をとることができることに対して、全ての対象者の半数以上が「そう思う」と回答した。
- ・給食は献立の変化に富みいろいろなものをバランスよく食べることができることに対して、中学生の保護者・小学生の保護者は90%以上、その他の対象者の60%以上が「そう思う」と回答した。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問20】	次に書いてあることは、中学校で給食を実施した場合の課題と思われる点です。あなたは、このことについてどのように思いますか。													
a.	中学生になると食べ物の好みなどから、食べ残しが多くでることがある。	1. そう思う	203	576	1,565	814	1,211	697	36.7%	61.3%	36.3%	24.0%	29.5%	19.1%
		2. 思わない	211	218	1,722	1,874	1,736	2,156	38.2%	23.2%	40.0%	55.2%	42.3%	58.9%
		3. わからない	139	145	1,021	710	1,153	805	25.1%	15.4%	23.7%	20.9%	28.1%	22.0%
		対象外・無効回答	2	0	47	63	57	60						
b.	生徒が給食当番をまじめにやらなかったり、給食にいたずらしたりすることがある。	1. そう思う	190	536	1,607	824	1,267	770	34.4%	57.1%	37.4%	24.2%	30.9%	21.0%
		2. 思わない	219	244	1,533	1,613	1,835	1,778	39.7%	26.0%	35.7%	47.4%	44.8%	48.6%
		3. わからない	143	159	1,157	963	997	1,111	25.9%	16.9%	26.9%	28.3%	24.3%	30.4%
		対象外・無効回答	3	0	58	61	58	59						
c.	「食べ物の好き嫌い」や「食べるが遅い」ということを生徒が負担に感じることがある。	1. そう思う	231	503	1,788	864	1,802	729	41.8%	53.6%	41.6%	25.4%	44.0%	19.9%
		2. 思わない	221	290	1,646	1,690	1,561	2,019	40.0%	30.9%	38.3%	49.8%	38.1%	55.2%
		3. わからない	101	146	867	842	734	912	18.3%	15.5%	20.2%	24.8%	17.9%	24.9%
		対象外・無効回答	2	0	54	65	60	58						
d.	給食の準備や後片付けの時間が必要になるため、学校での他の活動時間が今よりも減ることがあると思われる。	1. そう思う	139	614	2,318	817		548	25.1%	65.4%	54.0%	24.1%		15.0%
		2. 思わない	331	224	930	1,870		2,398	59.9%	23.9%	21.7%	55.0%		65.5%
		3. わからない	83	101	1,042	710		714	15.0%	10.8%	24.3%	20.9%		19.5%
		対象外・無効回答	2	0	65	64		58						
e.	給食費の滞納の問題がある。	1. そう思う	404	835		1,890		1,773	73.1%	88.9%		55.6%		48.5%
		2. 思わない	55	29		638		803	9.9%	3.1%		18.8%		22.0%
		3. わからない	94	75		869		1,082	17.0%	8.0%		25.6%		29.6%
		対象外・無効回答	2	0		64		60						
f.	中学校給食にたくさんの税金を使うのであれば、他のことに使うべきである。	1. そう思う	162	438		606		414	29.3%	46.6%		17.8%		11.3%
		2. 思わない	286	327		2,012		2,457	51.8%	34.8%		59.2%		67.2%
		3. わからない	104	174		778		783	18.8%	18.5%		22.9%		21.4%
		対象外・無効回答	3	0		65		64						

この項では、学校給食の課題についての認識を質問した。

- 給食は食べ残しが多く出ることがあることに対して、市民・中学生・中学生の保護者・小学生・小学生の保護者は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回ったが、教職員の60%以上は「そう思う」と回答した。
- 給食は給食当番をまじめにしないことやいたずらをするなどがあることに対して、教職員・中学生は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、市民・中学生の保護者・小学生・小学生の保護者は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回った。
- 給食は好き嫌いや食べるが遅いことを生徒が負担に感じることにに対して、市民・教職員・中学生・小学生は「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回ったが、中学生の保護者・小学生の保護者は「思わない」という回答が「そう思う」という回答を上回った。
- 給食は準備や後片付けのため他の活動時間が減ることがあることに対して、教職員・中学生の半数以上が「そう思う」と回答したが、市民・中学生の保護者・小学生の保護者の半数以上は「思わない」と回答した。
- 給食は給食費滞納の問題があることに対して、全ての回答者で「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。
- 中学校給食にたくさんの税金を使うのであれば他のことに使うべきということに対して、市民・中学生の保護者・小学生の保護者の半数以上は「思わない」と回答したが、教職員では「そう思う」という回答が「思わない」という回答を上回った。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問21】	中学校での給食の実施についてどう思いますか。	1.実施するほうがよい	142	131	987	1,511	666	2,039	25.6%	14.0%	23.0%	44.5%	16.3%	55.8%
		2.できれば実施するほうがよい	227	183	793	1,210	627	1,193	41.0%	19.5%	18.5%	35.7%	15.3%	32.7%
		3.できれば実施しないほうがよい	89	185	599	222	820	108	16.1%	19.7%	13.9%	6.5%	20.0%	3.0%
		4.実施しないほうがよい	70	380	950	184	1,212	127	12.6%	40.5%	22.1%	5.4%	29.6%	3.5%
		5.わからない	26	59	968	266	772	185	4.7%	6.3%	22.5%	7.8%	18.8%	5.1%
		対象外・無効回答	1	1	58	68	60	66						
【設問22】	あなたが中学校給食を実施するほうがよいと思うおもな理由を2つ選んでください。 〔設問21で「1・2」を選んだ方が対象。〕	1.健康・体力づくりのことを考えると、栄養価に配慮されている給食がよいから	217	229	933	1,797	748	2,081	58.8%	72.9%	52.4%	66.0%	57.8%	64.4%
		2.残さず食べるなど、望ましい食習慣が身につくから	44	27	275	220	330	276	11.9%	8.6%	15.4%	8.1%	25.5%	8.5%
		3.献立に変化があり、いろいろなものを食べられるから	184	95	655	1,442	388	1,555	49.9%	30.3%	36.8%	53.0%	30.0%	48.1%
		4.安全で良質な昼食が確保できるから	57	126	283	571	203	735	15.4%	40.1%	15.9%	21.0%	15.7%	22.7%
		5.同じものをみんなで会話をしながら食べることで、仲間づくりに役立つから	95	53	336	392	309	459	25.7%	16.9%	18.9%	14.4%	23.9%	14.2%
		6.家庭での弁当作りの負担が軽減されるから	126	65	835	893	485	1,210	34.1%	20.7%	46.9%	32.8%	37.5%	37.4%
		7.その他	9	21	87	27	49	45	2.4%	6.7%	4.9%	1.0%	3.8%	1.4%
【設問23】	あなたが中学校給食を実施しないほうがよいと思うおもな理由を2つ選んでください。 〔設問21で「3・4」を選んだ方が対象。〕	1.弁当を基本とする今の方式がよいから	77	422	988	190	1,351	109	48.4%	74.7%	63.8%	46.8%	66.5%	46.4%
		2.中学生には、全員が同じものを食べる「給食」は向かないから	19	41	256	27	471	25	11.9%	7.3%	16.5%	6.7%	23.2%	10.6%
		3.食べ残しなどの無駄が生じるから	33	98	827	116	1,051	43	20.8%	17.3%	53.4%	28.6%	51.7%	18.3%
		4.昼食は、家庭からの弁当や、店で売っている「弁当・パン・おにぎり」などで対応できるから	25	117	599	65	748	42	15.7%	20.7%	38.7%	16.0%	36.8%	17.9%
		5.中学校給食にたくさんの税金を使うのであれば、他のことに使うべきと考えるから	69	178		141		90	43.4%	31.5%		34.7%		38.3%
		6.給食費の滞納の問題が発生するから	74	183		197		102	46.5%	32.4%		48.5%		43.4%
		7.その他	8	53	217	27	225	31	5.0%	9.4%	14.0%	6.7%	11.1%	13.2%

この項では、中学校給食の実施についての意向を質問した。

- ・市民は、「できれば実施するほうがよい」と回答した者が41.0%と最も多く、「肯定的な意見」が66.6%であった。
- ・教職員は、「実施しないほうがよい」と回答した者が40.5%と最も多く、「否定的な意見」が60.2%であった。
- ・中学生は、「実施するほうがよい」と回答した者が23.0%と最も多く、「肯定的な意見」が「否定的な意見」を上回ったものの、「わからない」と回答した者が22.5%いることから、半数以上を占める意見はなかった。
- ・中学生の保護者は、「実施するほうがよい」と回答した者が44.5%と最も多く、「肯定的な意見」が80.2%であった。
- ・小学生は、「実施しないほうがよい」と回答した者が29.6%と最も多く、「否定的な意見」が「肯定的な意見」を上回ったものの、「わからない」と回答した者が18.8%いることから、半数以上を占める意見はなかった。
- ・小学生の保護者は、「実施するほうがよい」と回答した者が55.8%と最も多く、「肯定的な意見」が88.5%であった。
- ・給食の実施に、肯定的な回答をしたものの理由としては、「栄養価に配慮されている」が全ての対象者で最も多く、「弁当作りの負担軽減」「献立の多様性」も多くが回答した。また、教職員は「弁当作りの負担軽減」「献立の多様性」以上に「安全・良質な昼食確保」と多くが回答した。
- ・給食の実施に否定的な回答をした者の理由としては、市民・教職員・中学生の保護者・小学生の保護者は「弁当を基本とする今の方式がよいから」「給食費の滞納問題が発生するから」「給食にたくさんの税金を使うのであれば他のことに使うべき」と多くが回答し、小中学生は「弁当を基本とする今の方式がよいから」「食べ残しなどの無駄が生じる」「昼食は家庭弁当や市販の「弁当・パン・おにぎり」などで十分対応できる」と多くが回答した。

設問番号	設問	回答	回答数											
			市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者	市民	教職員	中学生	中保護者	小学生	小保護者
【設問24】	中学校での給食の実施形態は、どのような形が望ましいと思いますか。	1. 全員が同じものを食べる給食がよい	247	306	873	1,900	543	2,219	45.2%	34.6%	20.5%	57.2%	13.3%	61.6%
		2. 本人が弁当か給食のどちらにするのか選択できる給食がよい	262	443	2,264	999	2,658	1,007	48.0%	50.1%	53.2%	30.1%	65.2%	28.0%
		3. どちらでもよい	37	136	1,115	423	878	374	6.8%	15.4%	26.2%	12.7%	21.5%	10.4%
		対象外・無効回答	9	54	103	139	78	118						

この項では、中学校での給食の実施形態について質問した。  
 ・「全員が同じものを食べる給食がよい」と中学生の保護者・小学生の保護者の半数以上が回答した。  
 ・「弁当か給食か選択できる給食がよい」と教職員・中学生・小学生の半数以上が回答した。  
 ・市民は、「弁当か給食か選択できる給食がよい」と回答した者が「全員が同じものを食べる給食がよい」という回答を上回ったが、「どちらでもよい」と回答した者が6.8%いたことから半数以上を占める意見はなかった。